

平成29年8月10日
玉野市民病院

玉野市民病院事業について

1. 抜本的改革への取り組み（平成28年度実績）

(1) 救急医療体制の拡充

平成28年5月より（平日夜間21時15分まで）

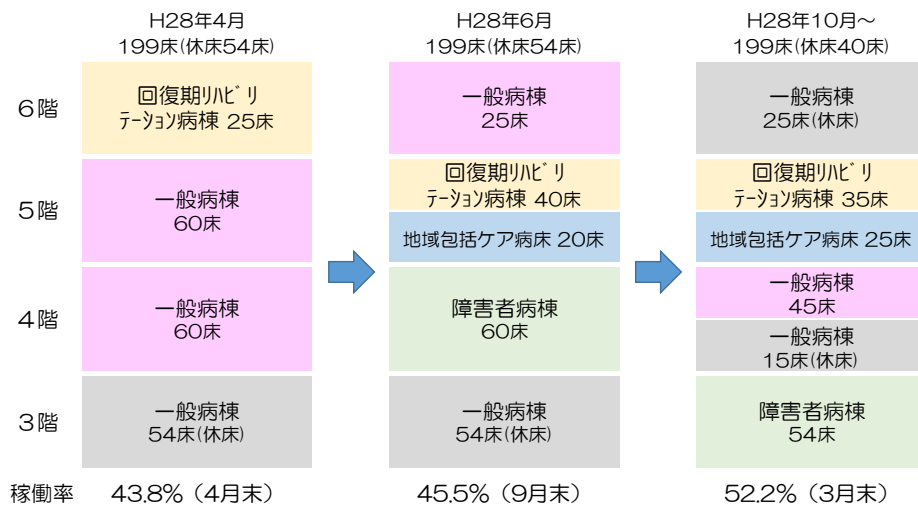
当直医1名 → 当直医1名+サポート医1名（外科・内科系）体制へ

(2) リハビリテーション体制の充実

早期かつ集中的なリハビリの実施により、早期の在宅復帰を目指す施設として
リハビリテーション体制を平日限定から 365日体制へ移行

(3) 病棟の再編と稼働率の向上

地域包括ケア病床及び障害者病棟を新設するとともに2度の病棟再編を実施



(4) 経営の改善

年度		H28	H27	差
年間病床稼働率 (%)		47.7	43.7	4.0%増
年間延べ患者数 (人)	外来	55,699	56,415	1.3%減
	入院	34,622	31,792	8.9%増
決算状況(千円)	医業収支	△439,695	△501,622	+61,927千円
	経常収支	△21,994	△135,645	+113,651千円
	純損失	△116,571	△272,631	+156,060千円

2. 新病院の建設計画について

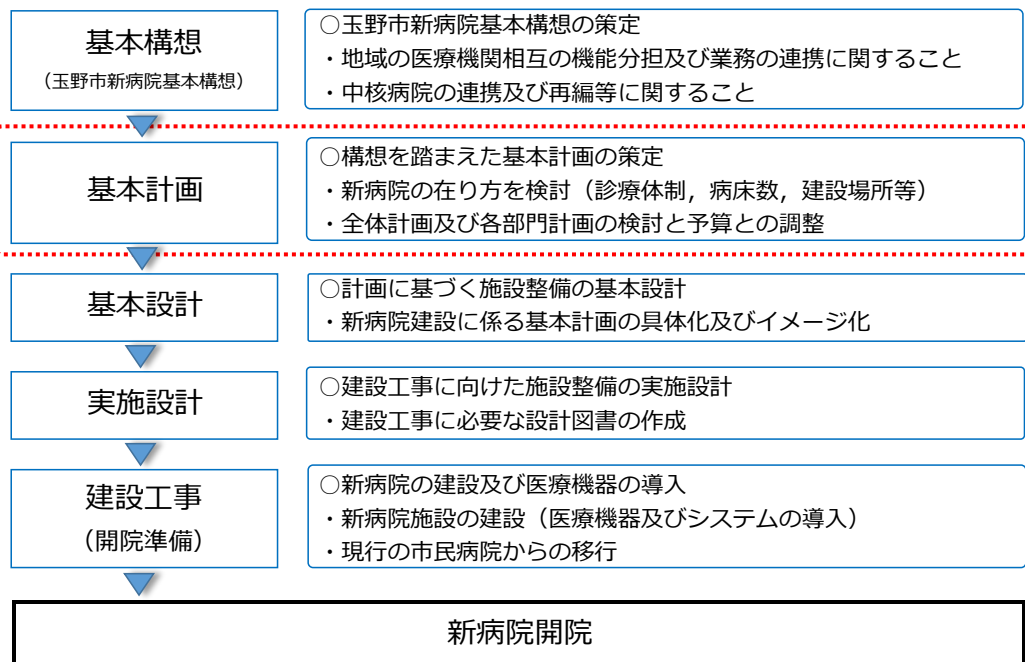
(1) 玉野市新病院基本構想

築 40 年以上が経過し、老朽化や耐震基準への適合に向けた対応が必要となる中で、将来的な地域医療の在り方を見据え、本市の中核医療を担うことが出来る施設を目指して、市内の医療機関との再編・統合を含めた医療連携体制の構築に向けた協議を進めてきたところですが、それぞれの医療機関において事情を抱える中にあっては早期の統合・再編には至ってはいないところです。

しかしながら、今後の医療需要の縮小等を鑑み、将来的な連携については認識を共有し、将来的な連携に向けての協議を継続するとともに、市内地域包括ケア体制の構築に向けた拠点施設を目指し、新病院基本構想としたところです。

(2) 全体のスケジュール

最短で、平成 33 年度中の開院を目指して新病院の建設計画を進行中



(3) 新病院の規模

- ・市民病院単独での建設 → 150～199 床
- ・他医療機関との統合が可能となった場合 → 250 床

⇒中長期的な視点に立ち、本市の地域医療における本院の役割等を十分に検証したうえで、必要となる病床規模・機能を明確化し決定します。

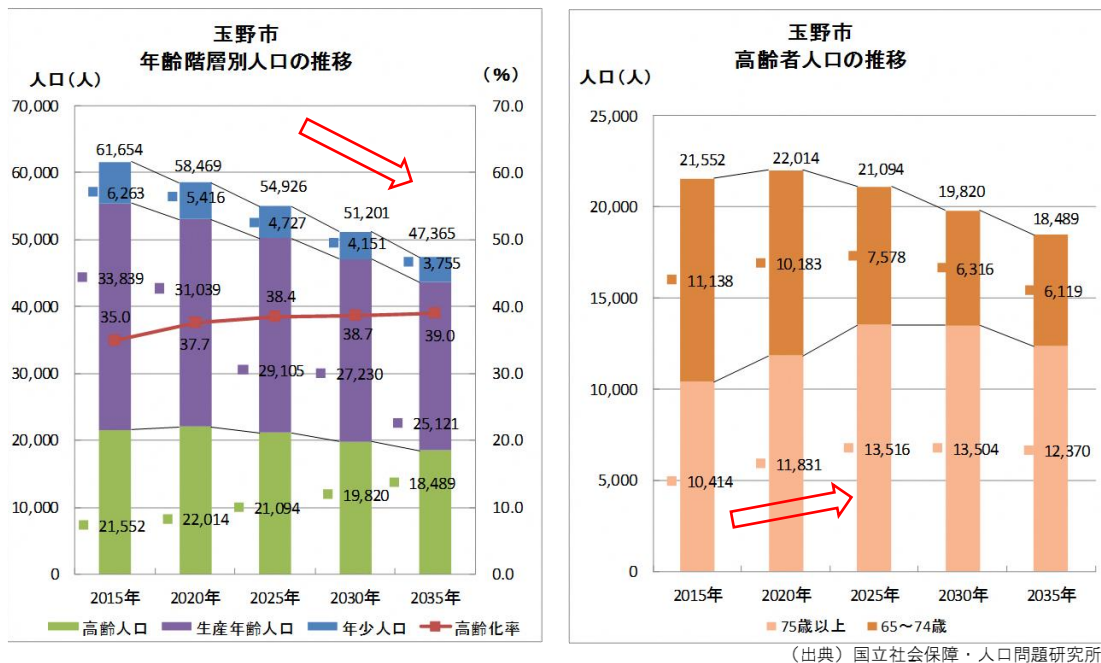
(4) 新病院建設候補地

次々頁の候補地（3 案）の中から最適となる候補地を選定し、基本設計に向けて具体的な病院の概要（規模、機能、場所等）を基本計画としてまとめる予定としています。

3. 玉野市における医療需要予測

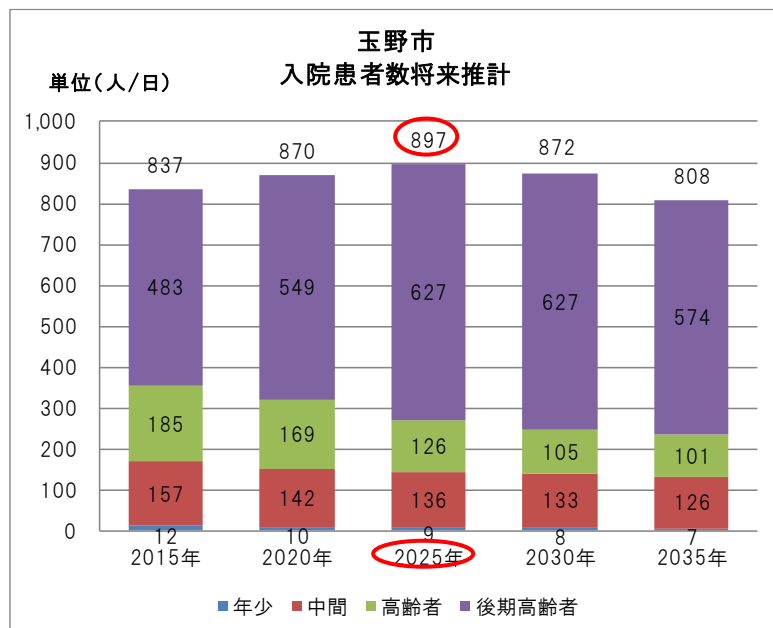
(1) 将来人口推計

国立社会保障・人口問題研究所による推計では、玉野市の人口は今後 20 年間で約 23%、25 年間で 30%の減少が見込まれています。一方で人口に占める高齢化率は一定の増加が見込まれています。

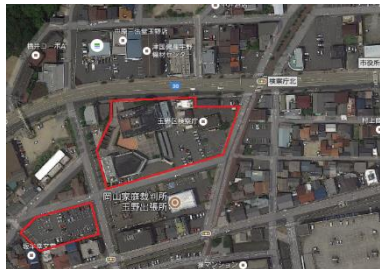


(2) 将来患者数推計

玉野市の将来人口推計に岡山県の患者調査による受療率を掛け合わせた将来患者数推計では、入院患者数のピークは 2025 年となり、以降は徐々に減少する見込みとなっています。



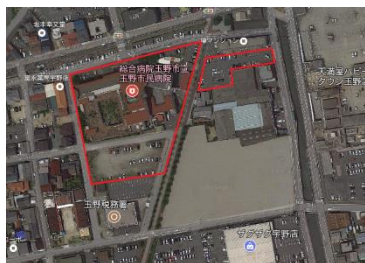
新病院建設候補地



②文化センター等跡地

面積：約 5,400 m²

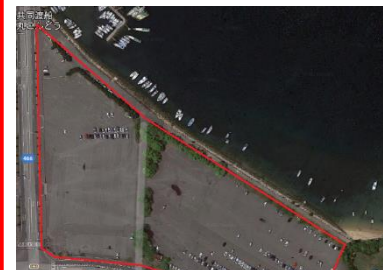
所有：一部国有地



①現在地周辺

面積：約 8,800 m²

所有：市有地



③競輪場駐車場

面積：内 8,000 m²程度

所有：市有地



現市民病院

面積：7,409